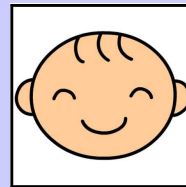


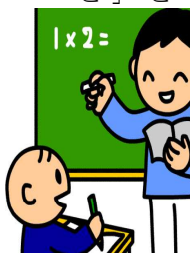
今、特別支援教育で目指したい授業

～ 特に大切にしてほしい3つのポイント！ ～



1 単元で身につけさせたい力を明確にする

- ◎ 事前に児童生徒がこれまで体験してきたことをしっかりと把握し、「できること」と「難しいこと」を整理することが大切です。



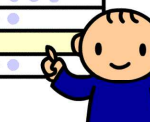
- 児童生徒が、「自信をもって取り組むこと」ができるように、これまでの学習や体験が生かせる目標及び単元計画を立てる。
- 「もう少し頑張ればできそうなこと」を目標として、単元計画を立てる。
- 単元で身につけさせたいことについては、「繰り返し取り組むこと」ができるように、単元計画を立てる。

2 学習活動に見通しをもたせる

- ◎ 児童生徒に学習活動の見通しをもたせることで、分かりやすい授業になり、主体的な学習活動が期待できます。

- 活動内容がイメージできるように、文字や絵・具体物など「視覚的な手がかり」を活用する。
- 本時の「ねらい」や「活動」を絞り、教える内容をシンプルにする。
- 教科の特性に応じて、授業の流れを「パターン化」したり、授業内容や取り組む順番を「視覚化」したりする。

	月	日	()
1	●	●	●
2	●	●	●
3	●	●	●
4	●	●	●
5	●	●	●



3 日々の授業の「授業改善」に努める

- ◎ 「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の目標や手立て等を生かして、日々の授業づくりを進めていきましょう。

- 児童生徒が自ら活動する学習機会を多く設定する。
 - ・児童生徒が教師と一緒に教材や教具などの準備や後片付けをする場面を大事にする。
 - ・教師の説明をできるだけ簡略化し、児童生徒が行う実際の活動時間を多く確保する。
 - ・教師や友達同士が「やりとりする機会」を意図的に設定する。
 - ・自己選択、自己決定の場面を設定する。
- 授業で学んだことを生活の中で生かせるようにしていく。
 - ・実際に児童生徒が操作したり、活動したりする機会を多く取り入れる。
 - ・生活場面を意識して、学習内容を構成する。
- 児童生徒の興味・関心を生かした活動内容を取り入れていく。
 - ・児童生徒の興味や関心を大切に、それを授業に取り入れることで主体的に活動できるようにしていく。

